

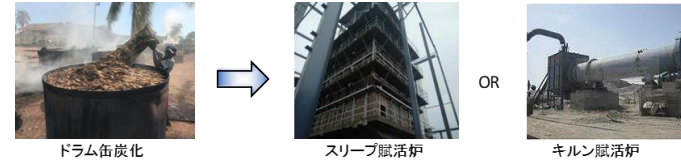
ココナッツヤシ殻を原料とする炭化・賦活一体型省エネ高機能活性炭製造プラントの実証

事業実施団体：株式会社 エム・イー・ティー

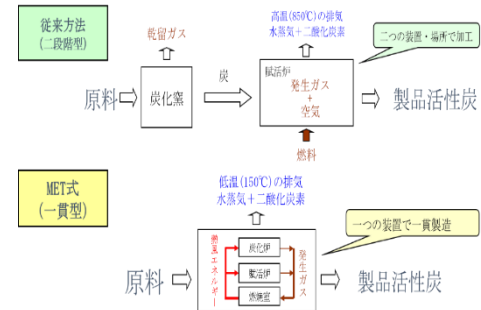
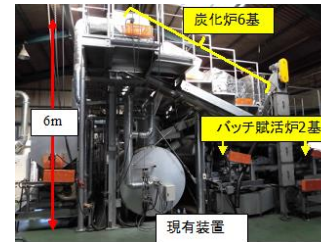
リノベーション・実証の概要

- ココナッツ椰子殻を原料とした『高機能活性炭』をGHG排出量ほぼゼロで生産できる装置を建設し実証する。
- 需要が急増している高機能活性炭を『原料から一貫』で製造できる「省エネ型MET方式」を日量1トン規模にリノベーションした実証施設を建設し、必要な性能を実証・確認する。
- 技術移転を容易ならしめる遠隔監視システムの導入と訓練プログラムの開発・実施を行い、現地での商用運用可能性を実証する。

既存の製造方法は工程が分割している



MET方式は全工程がパッケージ化されている。



両方法の比較図

対象とする国・地域の概要



地図データ©2021 Google

地図データ©2021 Google

- インドネシアは、ヤシ殻活性炭の原料となるココナッツ椰子の生産量が世界一であるが、低付加価値の『ヤシ殻炭』の製造が多く高付加価値化を政府は希望している。
- コンソーシアムパートナーTAD社が活動するゴロンタロ州にはヤシ農園が多く存在し、原料ヤシ殻が豊富に産出される。

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

- STEP1：2022年度までに実証機にて高機能ヤシ殻活性炭の実証生産を行い、現地技術者を日本にてトレーニングする。
- STEP2：2023年度インドネシアにて第1号機を建設し2024年より生産開始する。
- STEP3：インドネシア、及び東南・南アジアにおいて横展開する。

普及の見込み

活性炭の世界市場は約200万トン/年、高機能製品は年率5-7%で成長すると見られている。技術移転と人材育成をセットにしている本事業は高機能活性炭製造への新規参入障壁の高さを軽減でき普及が見込まれる。